



崎山 華英 議員



押印見直しとDXの推進について

問 行政手続きの押印見直しはどれくらい進んでいるのか。

答 令和3年度に行った見直しにより、規則等に定めがある様式のうち約70%と、規則等で定めがない様式のうち約50%について、押印を廃止した。

問 国の押印見直しマニュアルには認印には本人の認証効果がないとあるが、本市ではいまだに認印による押印が残っている。今後改めて押印の見直しを検討すべきと考えるがどうか。

答 令和3年度の見直しでは、法人の設立登記印、公印、実印、銀行印等の登録印、委任状等の第三者へ依頼する手続き、個人情報報の調査に関する同意書等、契約書、見積書、請求書等の会計手続き、受付印、決裁印等の事務手続きについて、見直しの対象外とした。電子申請なども見据えながら、見直しの必要性を含め、引き続き検討を進める。

子どもが第一に守られる保育環境へ

問 市内の保育施設において、不適切な保育が疑われる事案が発生した際、本市で独自に調査を行い、事実関係を適切に判断し対応する体制は整っているのか。

答 相談や通報を受けた場合には、子育て支援課において相談者や施設へ聞き取り調査を実施し、対応している。事務職員に対する研修は現在行っていないが、保育士を対象とした研修などを利用し、不適切保育に関する理解を深め、スキルアップに努めていく。

問 担当者によって対応が違ってしまうなど、属人的になることの懸念がある。市として対応ガイドラインをしっかりと作成すべきと考えるがどうか。

答 今年度、国のガイドラインの見直しが予定されているため、新たなガイドラインに沿って市の事務処理マニュアルを整備し、職員の役割分担や対応方法を明確にし、統一的な対応ができるように体制を整えていく。

その他の質問事項

○ 審議会委員等で多様な人材を選出するための取組
○ 庁舎内販売と地域に開かれた庁舎について

学校再編について

問 海上地域小学校3校の再編に係る代表者会議の現状と予定について伺う。

答 代表者会議は5回開催し、3校の統合については賛成の答申を受けた。統合校の位置については、候補地の嚶鳴小学校と旧海上中学校跡地、どちらも出席委員の3分の2以上の賛成を得られず、承認には至らなかった。今後は、この答申を踏まえ、海上地域小学校の方向性について、代表者会議で引き続き審議していく。

問 (仮称)北統合中学校の再編状況について、候補地と規模、今後の予定を伺う。

答 旭市学校再編基本方針に基づき、第二中学校の学区の一部(琴田・共和地区)と干潟中学校を統合し、新設予定。候補地は旭市学校再編連絡調整会議において検討を行っており、規模は4ha程度を想定している。7月には第二中学校の学区と干潟中学校の学区

水道事業について

問 旭市水道事業ビジョン及び旭市水道施設耐震化計画について、今後の方針を伺う。

答 水道事業ビジョン、耐震化計画ともに現在見直し作業を実施している。計画の中で耐震不足とされる旭配水場のポンプなどの更新、各配水場から地域へ送水する基幹管路と重要給水管路の耐震化を優先事項としている。

問 管路の更新と旭配水場のポンプ施設の更新により、末端までの水圧の向上は図られるのか伺う。

答 管路の耐震化にあわせて増径を実施し、またループ管の布設及び配水区域の適正化(自然流下区域の拡大)のための管路の増径も実施することにより、末端水量の増加及び水圧不足の解消を見込んでいる。旭配水場の設備更新により送水圧の向上は見込まれるが、老朽化した末端管路の耐久性が一部懸念されるので慎重に対応していきたい。

その他の質問事項

○ 銚子連絡道路の整備について
○ 商工業の振興について



井田 孝 議員

